

## 2 学生募集方法、入学者選抜方法

### 1) 学生募集の方法、入学者選抜方法の位置付け

(A群:大学・学部等の学生募集の方法、入学者選抜方法、殊に複数の入学者選抜方法を採用している場合には、その各々の選抜方法の位置づけ等の適切性)

#### 【現状の説明】 (1) 学生募集の方法等

学校法人聖学院は100年の伝統を有するが、「聖学院大学」はようやく創立18年の新しい大学であり、社会的知名度も十分ではない。本法人は大学開学以来、大学を中心に全学的な募集・広報活動を円滑にするために、法人本部に広報部を設置するとともに、学校法人内の各幼稚園・各校代表者による広報・入学試験実施委員会を組織した。一方、大学には広報・募集・入試活動を遂行する「アドミッションセンター」がある。広報・募集活動は、法人本部に所属する広報センターと大学に所属する「アドミッションセンター」の密接な連携のもとに下記のように行われている。

#### ① 学校法人および大学が直接行っている募集活動等

- ・大学ホームページ上での広報・入試情報の提供
- ・大学案内パンフレットの作成（上記HPでも閲覧可能）
- ・学科別案内のパンフレットの作成
- ・AO入試ガイドの作成
- ・オープンキャンパスの開催（年7回）
- ・個別相談会の開催（オープンキャンパス時毎回、その他4回計11回）
- ・資料請求者に対する出願を促す手紙の発送
- ・高校教諭、塾・予備校関係者を対象とした相談会の開催
- ・高校訪問（指定校など年間延べ約2,600校）

#### ② 業者委託の募集活動等

- ・各種受験雑誌への広告
- ・キリスト教関係新聞・雑誌への広告
- ・業者DMの発送（資料請求）
- ・業者設定相談会への参加（05年度は関東甲信越を中心に46回実施）
- ・業者設定高校説明会への参加
- ・業者設定高校模擬授業への教員派遣
- ・電車内広告（高崎線・山手線等）
- ・沿線駅構内の広告板の設置
- ・一般新聞・雑誌・専門誌への広告

#### ③ 高等学校等からの直接依頼による募集活動

- ・高校説明会への参加

## 第4章 学生の受け入れ

- ・ 一日体験授業の本学内での実施
- ・ 高校からの要望による模擬授業への教員派遣
- ・ 高校単位のキャンパス見学会の実施

### (2) 入学者選抜方法

本学の入学者選抜の特色は、受験生が単に偏差値を指標とする学力試験のみに偏ることがないように、選抜方法の多様化、評価尺度の多元化を積極的に取り入れ、複数回の受験機会、および一人ひとりの受験生に対する丁寧な選抜を実施することを心掛けている点である。

学力の偏差値尺度に基づく「入れる大学」から自己の能力・適性、関心等を最大限に活かせる「入りたい大学」を主体的に選抜できるように、4つの入試方法を取り入れている。2006年度の主要な入学者選抜は、下記の方法で実施された。

「AO入試」、「推薦入試」、「自己表現入試」、「一般入試」である。なお、このほかに社会人や留学生等には「特別入試」（詳細は後述）が用意されている。

#### ① AO入試

受験者自身の関心やこだわりを学びに結びつける手助けをすることを目指す入試で、数回の面談を通してレポート作成の指導をし、レポートが完成した時点で合格となる入試である。レポートのテーマは受験生とAO面談担当者の相談によって決定されるが、入学後の各学科での学びや将来の職業に関わるようなテーマが設定されることが多い。募集定員は政治経済学部および人文学部は各学科各25名、人間福祉学部は各10名、ただし児童学科は07年度入試からAO入試は実施しないこととした。これは、児童学科に小学校教諭免許取得が認可されことに伴い、AO入試希望者が大幅に増加し、複数回の面談を重ねるAO入試への対応が困難となったためである。

#### ② 推薦入試

小論文と面接が実施される。小論文は、各学科で取り組むことになる諸問題に対する受験生の考え方や姿勢を問うような問題が出題される。この入試では、高校の学業・課外活動に順応し、一定の成果を修めた実績を持つ人材が得られるものと考えられる。

推薦入試には次の種類がある。

- a. 指定校推薦：在学中の高校が推薦基準以上の成績に達した生徒を指定する。面接等の上、合否は決定されるが、原則として高校の指定を尊重する。
- b. クリスマン推薦：信仰の理念を本学と共有するキリスト教教会が推薦する生徒が受験する。
- c. 公募推薦：高校時代の学業成績が一定以上の評定平均に到達し、高校から推薦された生徒が受験する。

募集定員は推薦入試全体で政治経済学部および人文学部は各学科ともに各 30 名、人間福祉学部は両学科ともに各 40 名である。

### ③ 自己表現入試

各学科の特徴を活かして文章表現、口頭および身体表現（外国語のスピーチを含む）、作品紹介、グループ・ディスカッション、などを評価する方式で実施されている。この入試では、受験者がこれまでの経験をどのように捉え、今後の学びに結びつけようとしているかについての表現力や、保育や福祉の現場でのコミュニケーション能力が問われることになる。

募集定員は政治経済学部および人文学部は各学科とも 5 名、人間福祉学部は両学科ともに 10 名である。

### ④ 一般入試

地道に勉学に取り組み基礎学力を身につけると同時に、忍耐強く努力のできる人材が得られることを期待して実施する入試である。一般入試は、AおよびB日程の2回、06年度からはC日程を加えて3回実施されている。

なお、2007年度の一般入試【A日程】会場は、受験生の便宜をはかり、大学キャンパス以外に、東京・立川・横浜・仙台・郡山・新潟・高崎・柏・長野の会場で実施する。

### ⑤ その他

この他に各々少人数が対象となるが、「特別入試」として「社会人入試」、「帰国生入試」、「留学生入試」および編入学試験が位置づけられている。出願できるのは、いずれも各出願資格を有し、入学を希望する学科が求める学生像に適する者である。

- a. 社会人入試：出願資格は高校卒業後おおむね5年間以上の社会的経験（主婦を含む）を有する者である。入試はAO試験方式で実施される。
- b. 帰国生入試：出願資格は日本国籍を有し、海外の高等学校に1年以上在学し、高等学校を卒業もしくはそれと同等以上の学力が有ると認められた者である。入試はAO試験方式で、必要に応じて小論文が加えられて実施される。
- c. 留学生入試：出願資格は原則として日本国内に在住している者である。外国において学校教育における12年の課程を修了し、一定レベル以上の日本語が理解できる者としている。
- d. 編入学試験：出願資格は4年制大学・短期大学・高等専門学校を卒業した者、もしくは4年制大学・短期大学に1年以上在学した者で、31単位以上取得済み、または取得見込みの者である。専修学校にあって一定の条件を満たした者も出願資格が認められる。編入学試験：出願資格は4年制大学・短期大学・高等専門学校を卒業した者、もしくは4年制大学・短期大学に1年以上在学した者で、31単位

## 第4章 学生の受け入れ

以上取得済み、または取得見込みの者である。専修学校にあって一定の条件を満たした者にも出願資格が認められる。

**【点検・評価】** 募集のための広報活動では、大学ホームページ上での詳細な広報・入試情報の迅速な提供、大学案内パンフレットの作成、年7回のオープンキャンパスおよび年11の個別相談会の開催、高校教諭、塾・予備校関係者を対象とした相談会の開催、担当者によるきめ細かい高校訪問などが、受験生や高校側に支持されて、受験生の確保につながっていると云えよう。

上記の4方式での入試が実施されるようになって数年になり、受験生や高等学校、予備校にも本学の意図が理解されるようになり、それぞれ違ったタイプの受験生、入学者が得られるようになった。入試の方式に工夫を凝らし、様々な方法を組み合わせることによって、定員を確保するとともに、本学の教育目標を達成できるような入学者が得られている。

4つの入試方法を通して、学生達はそれぞれ、「みっちり指導されて良いレポートが書けるようになった」(AO入試)、「高校から推薦された」(推薦入試)、「自分というものはっきり持ち、それを他人に理解されるように表現できた」(自己表現入試)、「学力審査で合格点を取った」(一般入試)といった誇りを持って入学しており、キャンパスの雰囲気をよくしている。

**【課題・方策】** 大学全入時代にあつて入学者の定員確保はますます難しくなってくる。このような状況の中で、さらに大学の理念・目的・教育目標にあつた学生のみを受け入れることは困難な状況である。しかし、個別相談を重視するとともに、AO入試、自己表現入試および推薦入試など、学生と直接面接・面談する機会には、本学各学部の理念・目的・教育目標等を説明し、出来る限り、それに賛同する学生を受け入れるための継続的な努力が必要である。

学部・学科の性質に一層適合した入学者を得るためには、学部・学科に一層適合した入試方法を研究しつつ、受験者の動向も絶えず見極めながら、入試別の定員配分も年度ごとに検討する余地がある。

### 3 学生の受け入れ

(B群:入学者受け入れ方針と入学者選抜方法、カリキュラムとの関係)

(C群:学部・学科等のカリキュラムと入試科目との関係)

学生の受け入れにおいては、各学科別に学科の特長を生かした取り組みが行われている。はじめに全学的な取り組みについて述べ、その後各学科別の取り組みについて記載する。

#### 1) 全学的取り組み

**【現状の説明】** 「偏差値による一元的審査を脱却し、多元的な評価基準での審査」と「入試から始まる教育」が本学の入試のモットーであり、入試においては受験生の学ぼうとする意欲や